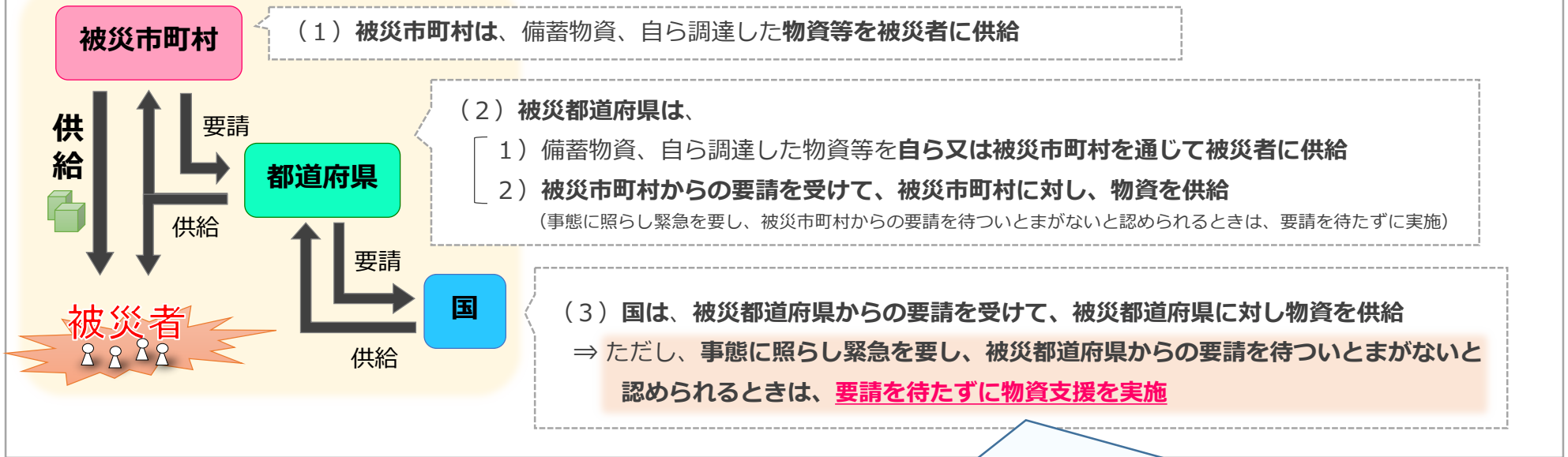


# 災害時の物資支援（プッシュ型支援）について



## 物資支援スキーム



## 『プッシュ型支援』とは

発災当初において、**被災自治体からの具体的な要請を待たずに**必要不可欠と見込まれる物資、  
いわば**被災者の命と生活環境に不可欠な必需品**を、**国が調達し被災地に緊急輸送する**もの。

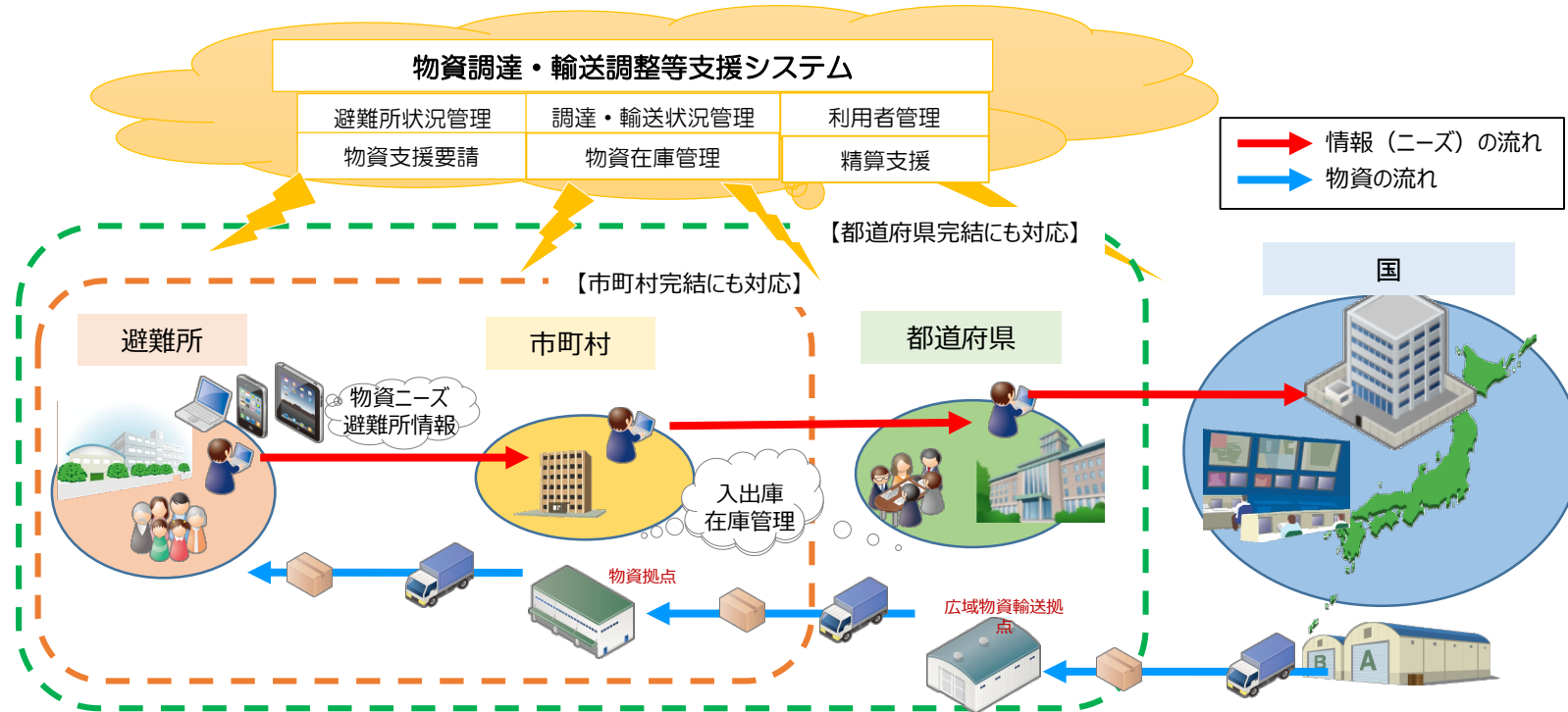
( ◇東日本大震災等の経験・教訓から災害対策基本法がH24に改正、平成28年熊本地震において初めて実施)

- ・ **食料**や**乳児用ミルク**、**携帯・簡易トイレ**、**毛布**、**生理用品**、**トイレットペーパー**、**紙おむつ**等の基本品目のほか、
- ・ **避難所環境の整備に必要な段ボールベッドやパーティション**、**熱中症対策に不可欠な冷房機器**、**感染所対策に必要なマスクや消毒液**などを支援しており、その他災害の様態や被災地ニーズも踏まえて適切に支援する。

# 物資調達・輸送調整等支援システムの概要



- このシステムは、国と地方公共団体の間で、物資の調達・輸送等に必要な情報を共有し、調整を効率化することで、迅速かつ円滑な被災者への物資支援を実現するためのもの
- 都道府県及び市町村の物資拠点や避難所の物資情報(ニーズ、調達・輸送状況等)を国・都道府県・市町村で共有できるよう開発し、2020年度より運用開始



## 【課題】

- ・電話・FAX等のやり取りが中心。
- ・物資ニーズや物資輸送状況の迅速な全体把握や関係者間の情報共有が困難。
- ・在庫が把握できず必要な物資量がわからない。

## 【システム導入のメリット】

- ・避難所物資ニーズのリアルタイムな把握共有が可能。ニーズに対するミスマッチの解消につながる。
- ・物資の要請・輸送に係る情報を一元的に管理・共有できる。
- ・自治体における平時の避難所および物資拠点の管理、備蓄物資の管理・情報共有に活用でき、災害時の初動対応を迅速化。



- 【平成28年熊本地震】
- 【平成30年7月豪雨】
- 【平成30年北海道胆振東部地震】
- 【令和元年8月前線に伴う大雨】
- 【令和元年房総半島台風(台風第15号)】
- 【令和元年東日本台風(台風第19号)】
- 【令和2年7月豪雨】

下記のURLから必要な事案をご覧ください。

災害情報：防災情報のページ - 内閣府

<https://www.bousai.go.jp/updates/index.html>